



VISIONDRIVE™

CAR BLACK BOX

VD-7000W



GeoCross
Technology and Life

External Camera
(option)

VISIONDRIVE

BLACK BOX



GeoCross
Technology and Life

目次

1. ご利用を開始する前に
 2. 注意事項
 3. 製品構成
 4. 製品各部の名称
 5. 製品仕様
 6. 取り付け時の注意事項
 7. 取り付けの流れ
 8. 取り付け方法
 9. 使用方法
 10. 分析ツール(ビューアー)
 11. 製品保証
-

ご利用を開始する前に

弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

下記情報は製品のご購入・ご利用にあたり、弊社が保証する責任の範囲とともに本製品の使用上の注意事項を整理したものです。

製品のご利用を開始する前に本内容を確認し、十分にご理解くださいますようお願い申し上げます。

■ 保証と責任の範囲

本製品の故障またはデータの損失による損害、および本製品の使用に当たって発生する損害について、本製品および付属品の修理・交換を超える範囲については弊社では責任を負いかねます。

本製品は車両の運行中に発生する衝撃・事故、またはユーザーの判断（ボタン操作）により映像を録画/保存/再生/分析することを目的とした装置ですが、どのような使用環境/作動状況でも確実に録画することを保証するものではありません。

また、車両に加わる衝撃(G)が弱い場合や、軽微な事故で衝撃が弱い場合、振動センサーが衝撃を感知することができず、本装置が映像を自動的に録画・保存しない場合があります。その場合は、必ず緊急保存ボタン(SHOT)を押して映像を手動録画・保存してください。

注意事項

- 本製品には、付属のVision Drive専用SDカードのみご利用いただくことができます。専用SDカードを紛失または損傷した場合は、販売代理店にお問い合わせ下さい。
- 専用SDカード以外のSDカードは使用できません。また、専用SDカード以外のSDカードを使用された結果発生したあらゆる事象については、保証対象外となりますのでご注意ください。また、一般に市販されているSDカードについて、弊社まで対応可否についてお問い合わせいただいてもお答え致しかねますので予めご了承下さい。

警告

- 本製品を分解・修理・改造しないでください。感電事故の原因となるだけでなく、製品内部に異常を生じ事故が発生する可能性があります。また、お客様ご自身による分解・修理・改造が行われた形跡が確認された場合や、その可能性が疑われる場合、保証対象外となります。製品の点検または修理が必要と思われる場合は、ご購入された販売代理店までお問い合わせ下さい。
- 製品には必ず付属の専用シガー電源アダプタを使用して下さい。専用シガー電源アダプタ以外を接続した場合、保証対象外となるだけでなく、故障または火災の原因となる場合があります。
- 製品の設置や配線、ご利用に当たっては、ケーブルなどが圧迫されたり、断線しないようご注意ください。また、設置するガラス部分に汚れや油脂、ホコリなどがついている場合は製品が落下する原因となりますので、事前に汚れや油脂、ホコリを取り除き十分乾燥させてから取り付けを行って下さい。
- 常時シガーソケットから電源出力を行う車種でご利用いただく場合は、エンジンをオフにした後にシガーソケットからシガー電源アダプタを取り外して下さい。エンジンがオフの状態でも本機を動作させた場合、バッテリー上がりの原因となります。
- 本製品は防水製品ではありません。必ず車内に設置し、本体に水または液体がかからないようご注意ください。
- 本製品および本製品周囲の清掃を行う場合は、化学薬品、洗剤などを使用しないで下さい。故障の原因となります。
- 車両のガラス表面または本製品のレンズ表面にホコリや異物が付着している場合、映像が鮮明に撮影できません。フロントガラス表面および本製品のレンズ部分にホコリや異物が付着しないようお手入れの上ご利用下さい。
- 車両のガラスコーティングによって、録画される映像の色味に変化が発生したり、画質に影響が発生する可能性があります。特に、夜間や暗所での撮影時に映像が暗めに撮影される場合がございますので予めご了承下さい。

注意事項

- 本製品は一般的なカメラ機器と同様に、トンネル走行時など急激な明暗の変化や逆光などにより録画される映像に影響を受ける場合がありますので、予めご了承下さい。
- 車両に加わる衝撃(G)が弱い場合や、軽微な事故で衝撃が弱い場合、振動センサーが衝撃を感知することができず、録画された映像がイベントファイルとして保護されず、上書き可能な通常ファイルとして保存される場合があります。その場合は、必ず緊急保存ボタン(SHOT)を押して映像を手動録画・保存してください。
- 電源が入ったままの状態でもSDカードを抜き差ししないでください。SDカード上のデータに損傷を与えたり、SDカードが利用できなくなる可能性があります。
- 走行中に本製品の操作を行わないで下さい。事故の原因となる恐れがあります。本製品の操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行って下さい。
- 使用中に製品を落下させたり物理的な衝撃を与えると、故障や火災の原因となる恐れがあります。
- 高温または低温、高湿度環境でのご利用や保管することはおやめ下さい。夏の直射日光下など長期間に渡り直射日光に当たる場合や、車外/車内温度が極端に下がる環境に放置すると変形や故障の原因となります。また、本製品付近に火気がある場合や、水や液体がかかった場合、故障や火災の原因となります。
- 本製品を車両から取り外す場合は、必ず電源がオフになっている状態で行って下さい。
- SDカードの保管時や持ち運び時には、静電気および外部環境の影響によりデータが損失する恐れがありますので、保管ケースに入れて保管・持ち運びしてください。
- SDカードは消耗品です。SDカードの使用期限が過ぎると内部のメモリ上に不良セクタなどが発生し、正常に録画・保存できなくなります。本製品は電源オン時にSDカードの自動チェックを行います。自動チェックにより正常とされた場合でも映像が正常に録画・保存されていない場合は新しいSDカードに交換して下さい。
- SDカード上に保存されたデータの破壊・損傷・損失について、当社では一切責任を負いません。
- SDカード上の重要なデータは、必ず他の記憶媒体(HDDやCD、メモ리카ードなど)にコピーするなど、バックアップを行って下さい。

製品構成

※ 製品改良のため、製品仕様および付属品は事前の予告無く変更される場合があります。



本体ユニット



赤外線LED付き外部カメラ
(ケーブル長：4.0m)



設置用ブラケット



専用SDカード



ケーブルホルダー



専用シガー電源アダプタ

製品各部の名称



製品仕様

モデル名	VISIONDRIVE VD-7000W
カメラ	2カメラ 本体部：0.3メガピクセル CMOSカメラ 外部：0.3メガピクセル 赤外線撮影対応CMOSカメラ
録画解像度	640x480(VGA) 30fps (1ch) / 640x480(VGA) 20fps (2ch)
録画方式	常時録画 / 手動・緊急時用保存ボタン有り 通常録画ファイルは5分ごとに分割して保存
最小動作照度	0.1Lux
撮影画角	対角156度 (水平120度、垂直90度) °
本体部カメラ可動域	65度 (垂直方向のみ)
内蔵LCDディスプレイ	2.4インチ TFTカラー液晶
GPS	本体部に内蔵(Sirf III)
衝撃センサー	内蔵型3軸加速度センサー (X-Y-Z軸、衝撃/急制動/急発進/急回転など)
記憶媒体	専用SDカード (付属)
音声録音	本体部にマイクを内蔵
音声案内	本体部に内蔵のスピーカーより各種案内を出力
イベント録画	衝撃感知の10秒前から、衝撃感知後 15~60秒間をイベント映像として保存
定格電圧	DC 12V ~ 24V 専用シガー電源アダプタより給電
非常電源	EDLC
動作環境温度	-20 ° C ~ 60 ° C (但し、結露なきこと)
本体部外寸	111mm x 75mm x 27mm (本体ユニットのみ)
対応PC環境	Core2Duoおよびそれ以降のCPUと2GB以上のメモリを 搭載し、Windows XP(SP3以降) / Windows Vista (32bit) またはWindows 7 (32bit / 64bit) がインストールされた PC。
Analyzer Program	Dedicated Analyzer (AVI file transformation support)
Option Item	0.3M Pixel IR camera
Others	LCD zoom playback (x2, x4)

取り付け時の注意事項

安全な設置および使用のため、製品の取り付けを開始する前に以下の注意事項をご確認下さい。

初回利用時やアップグレード後の再起動時には、電源を抜かないで下さい。特にエンジン始動時、キー位置がACCからONにした際にしばらく電源が遮断されますのでご注意下さい。

初めて本製品をご利用になる場合やアップグレード作業を行う場合は、エンジン始動後にシガーソケットにシガー電源アダプタを接続してご利用下さい。

本製品には、付属のVision Drive専用SDカードを使用して下さい。Vision Drive専用SDカードには使用する本体ユニットと一対一で関連付けられています。一般に市販されているSDカード、および別の本体ユニットで使用したSDカードは使用できません。

事故防止のため、設置作業は明るく安全な場所で、必ずエンジンを停止した状態で行って下さい。

付属のシガー電源アダプタ以外の電源は絶対に接続しないで下さい。

設置前にカメラを装着する部位と、カメラのレンズ部のホコリや汚れ、油脂を取り除いて下さい。

動作中にはSDカードを抜き差ししないでください。

本製品を取り外す場合は、必ず電源を抜いて本体ユニット上の全インジケータータランプが消灯してから行って下さい。

製品の分解・改造・ご自身での修理は危険ですので絶対におやめください。

取り付けの流れ

1. 設置用ブラケットを本体ユニットに取り付ける
2. 赤外線LED付き外部カメラを本体ユニットに接続する
3. 本体ユニットにSDカードを挿入する
4. 本体ユニットおよび赤外線LED付き外部カメラをガラス面に取り付ける
5. シガーソケットに接続して電源をオンにする
6. カメラの角度を調節する
7. LEDインジケータの状態を確認する
8. ケーブルホルダーを使用してケーブルを整理する

取り付け方法

1. 設置用ブラケットを本体ユニットに取り付ける



- 設置用ブラケットを本体ユニット裏面に差し込み、1の矢印方向にロックがかかるまでスライドさせて固定します。設置用ブラケットを取り外す場合は、2の矢印方向にスライドさせます。(設置用ブラケットは本体ユニットに取り付け済みの状態で出荷される場合があります)

2. 赤外線LED付き外部カメラを本体ユニットに接続する



- 赤外線LED付き外部カメラを、本体ユニットの『外部カメラ端子』に接続します。

取り付け方法

3. 本体ユニットにSDカードを挿入する



- 誤挿入防止のため、誤った向きではSDカードを挿入できない構造になっています。誤った向きのまま無理に力を加えて挿入した場合、故障や破損の原因となります。
- SDカードを取り出す場合は、電源がオフになっていることを確認の上SDメモ리카ードを少し押し込んで下さい。内部機構によりSDカードが押し出されます。
- SDカードの挿入時や取り出し時に、ピンセットや爪などで無理な力を加えないで下さい。SDカードが破損したり、本体ユニット故障の原因となる恐れがあります。

4. 本体ユニットおよび赤外線LED付き外部カメラをガラス面に取り付ける



- 取り付ける前に、設置面とカメラの撮影範囲となるガラス部分からホコリや汚れ、油脂を除去してください。
 - 本体ユニットはフロントガラス上部中央付近に設置します。赤外線LED付き外部カメラは、車内撮影用として使用する場合にはフロントガラス上部に、車両後方撮影用として使用する場合にはリアガラス上部中央付近に設置します。
- ガラス表面に各種コーティング加工が施されている場合、ウィンドフィルムが貼り付けられている場合、着色ガラスが使用されている場合、記録される映像の色味や画質に影響を及ぼす場合があります。
 - 熱線遮断コーティングなどコーティング加工の種類によっては、内蔵GPSの受信感度に影響を及ぼし、場合によっては受信できない場合があります。

取り付け方法

5. シガーソケットに接続して電源をオンにする



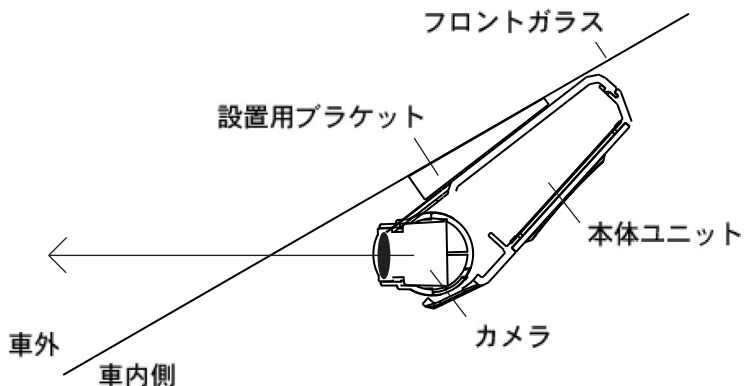
- 付属の専用シガー電源アダプタをシガーソケットに差し込み、エンジンを始動します。
- システムの起動処理が完了するまでの間、エンジンをオフにしたりシガー電源アダプタを抜いたりしないでください。故障の原因となる場合があります。

6. カメラの角度を調節する

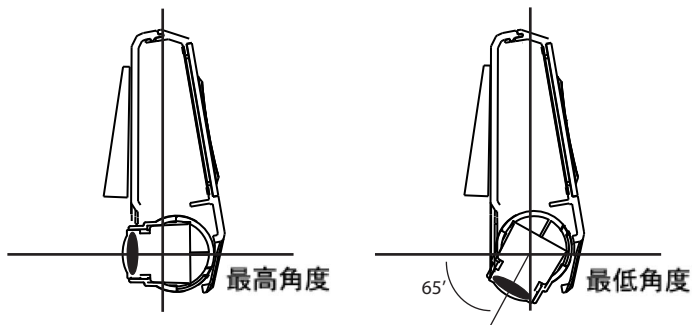


- 本体の液晶表示部を確認しながら、カメラの上下角度を調節します。
- 事故発生時などの映像解析のため、車両先端が撮影範囲の下側1/2程度まで映るように調節することを推奨します。

取り付け方法



- 本体ユニットをフロントガラスに固定する場合、カメラが車両の前方に向かうように調節します



- カメラは上下65度までの範囲で稼働します。
走行中の振動などにより意図せずカメラの角度が変更されないよう、カメラ可動部は若干硬めに設計されています。

取り付け方法

7. LEDインジケータースの状態を確認する



- GPSインジケータースは、GPS衛星による測位中は青く、GPS衛星が補足できていない場合には赤く点灯します。
- 車両の位置や周辺環境によって、GPS衛星による測位の開始には数秒～数分を要する場合があります。また、トンネルや高層ビル間の走行中は、GPS信号が受信できない場合があります。
- RECインジケータースは、通常撮影時は青く点灯します。衝撃や急加速・急減速を検知した場合や、SHOTボタンにより手動録画操作を行った場合は赤く点灯します。

8. ケーブルホルダーを使用してケーブルを整理する



- ケーブルホルダーを使用して、ケーブルを整理します。

使用方法

■ 製品の起動

- 車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で安全確認を行います。
- 付属の専用SDカードが本体ユニットに挿入されていることを確認します。
- エンジンを始動します。
- エンジンを始動すると本製品の電源がオンになり、音声案内を開始します。
- RECインジケータとGPSインジケータが点滅・点灯します。
- RECインジケータが青く点滅し、通常撮影(常時録画)を開始します。
- GPS衛生を捕捉するまでの間GPSインジケータは赤く点灯し、GPS衛生を捕捉すると青く点灯します。
- GPS衛生の捕捉には受信状態や車両の位置により、数秒～数分を要します。また、環境条件によってはGPS衛生の捕捉が行えない場合があります。
- 動作中に赤外線LED付き外部カメラを抜き差しすると、本機は動作モード変更のため自動的に再起動します。

■ 常時録画とイベント録画

- 本機は電源がオンになると自動的に録画(常時録画)を開始します。常時録画中は、RECインジケータが青く点滅します。
- 常時録画中の映像は約5分ごとのファイルに分割され、SDカード上の normalフォルダに保存されます。
SDカードの空き容量が少なくなった場合、古いファイルから順に削除されて新しい映像が保存されます。
- 車両に衝撃が加わったり急加速・急減速を感知した場合、本体ユニットのスピーカーからアラーム音を発し、撮影中の映像はイベントファイルとして event フォルダに保存されます。イベントファイルの保存中、RECインジケータは赤く点灯します。
- イベントファイルには衝撃や急加速・急減速を検知した10秒前から、検知後最大60秒までの映像が録されます。検知後の記録時間は、分析ツール(ビューアー)上で設定することができます。
- normal フォルダと event フォルダの容量比率(配分)や録画品質、解像度、衝撃センサーの感度などは、分析ツール(ビューアー)上で設定することができます。

■ 手動録画

- SHOT ボタンを押すと、衝撃や急加速・急減速を感知した場合と同様にアラーム音が鳴り、撮影中の映像をイベントファイルとして保存することができます。
- 事故を目撃した場合や、センサーが検出しない弱い衝撃発生時など、任意にイベントファイルとして保存することができます。

使用方法

■ 映像を確認する

1) 撮影中の映像確認(赤外線LED付き外部カメラ接続時)

1. 本機の電源がオンになると、液晶表示部には自動的に本体ユニットのカメラ映像が表示されます。
2. 本体ユニットのカメラ映像が表示された状態で**V**ボタンを押すと、赤外線LED付き外部カメラの映像が表示されます。
3. 赤外線LED付き外部カメラの映像が表示された状態で再度**V**ボタンを押すと、液晶表示がオフになります。
4. 液晶表示がオフの状態では**V**ボタンを押すと、本体ユニットのカメラ映像が表示されます。

赤外線LED付き外部カメラを接続していない場合は、**V**ボタン操作は液晶表示のオン/オフ切替になります。

安全のため、本機の操作は必ず安全な場所に停車した状態で行ってください。

■ 録画した映像の確認

- **PLAY**ボタンを押すと、最後に撮影されたイベントファイルが再生されます。
- **SHOT**ボタンを押すと、撮影順に再生するファイルを変更することが出来ます。
- 映像下部に、映像が撮影された日時が表示されます。
(撮影時にGPS衛生が捕捉できていない場合、再生時に撮影日時の表示は行われません)
- 再生中に**PLAY**ボタンを押すと、映像を2倍サイズまたは4倍サイズに拡大することが出来ます。4倍サイズに拡大した状態で**PLAY**ボタンを押すと、元のサイズに戻ります。

- **PLAY**ボタンを長押し(3秒以上)すると、再生モードを終了します。



Original Size



x2 Size



x4 Size

使用方法

■ SDカードについて

- 本機には必ず付属のVisionDrive専用SDカードを使用してください。VisionDrive専用SDカードは相性問題などが発生しないように特別に生産され、弊社による精密な検査をクリアした専用品です。VisionDrive専用SDカード以外を使用した場合、いかなる事象についても責任を負いかねます。
- SDカードを取り出す場合は、エンジンを停止し本体ユニット上の全てのインジケーターが完全に消灯したことを確認してください。本機はシガーソケットからの給電停止後、内蔵EDLCにより録画中の像を安全に保存するために数秒間動作を継続します。
- 取り出したSDカードは、再度本機の電源をオンにする前に正しく挿入してください。SDカードが挿入されていない場合、本機は正しく動作することが出来ません。
- SDカードをPCに接続する場合は、必ずSDHC規格に対応したカードリーダーを使用してください。
- SDカードが挿入されていない場合、「SDカードを挿入してください」と音声案内が流れます。また、VisionDrive専用SDカード以外のSDカードが挿入されている場合、「認証されていないSDカードです」と音声案内が流れますので、正しいSDカードを挿入してください。
- SDカードが書き込み防止状態(ライトプロテクト)になっている場合、「SDカードがロックされています」と音声案内が流れます。書き込み防止スイッチを解除位置に直して、再度挿入してください。
- VisionDrive専用SDカードを正しく挿入しても「認証されていないSDカードです」と音声案内が流れたり、正常に録画できない場合は新規にVisionDrive専用SDカードをお求めください。

■ 音声録音のオン/オフ

- 常時録画中にSHOTボタンを長押し(3秒以上)すると、音声録音のオン/オフを切り換えることができます。
- 音声録音のオン/オフは、分析ツール(ビューアー)上で設定することも出来ます。


分析ツール(ビューアー)

*** 分析ツール(ビューアー)の外観・動作は、バージョンにより異なる場合があります ***

■ 分析ツール(ビューアー)の起動



- SDカードをPCと接続して、SDカード上のVDA analyzer.exeを実行します。

 VDA analyzer.exe

- 暗証番号の入力を求められますので、初期暗証番号(12345678)を入力します。

分析ツール(ビューアー)

■ 録画ファイルの再生方法

- 画面右側に表示されている録画ファイルのリストから再生したいファイルを選択して、ダブルクリックします。
- 録画ファイルリストでは最新のファイルが一番上に、最も古いファイルが一番下になるように表示されています。
- プログラム実行時には eventフォルダが表示されています。
- normalフォルダに保存された映像を再生する場合は、右上のOPENボタンを押してフォルダを選択してください。
- ファイル名は下表のルールに基づいて記録されています。拡張子(.vd)直前の数字は、1の場合は常時録画ファイル、2の場合はイベントファイルであることを示します。

区 分	実際のファイル名	ファイルリスト上での表示
GPS 受信時	連番-日付-時間-イベント区分.vd 例) 124537834-20090102-120102-1.vd	日付-時間-イベント区分.vd 例) 20090102-120102-1.vd
GPS 未受信	連番-NOGPS-連番-イベント区分.vd 例) 124537834-nogps-124537834-1.vd	NOGPS-連番-イベント区分.vd 例) NOGPS-12345678-1.vd

分析ツール(ビューアー)

■ プレビュー表示

- ファイルリスト上でファイルを選択(シングルクリック)すると、画面右上にファイル先頭の映像が表示されます。

- ファイルリスト上でダブルクリックすると、再生が開始されます。



■ 自動再生

- ファイルリスト上でダブルクリックすると、自動的に映像の再生が開始されます。
選択したファイルの再生終了後は、選択したファイルから順に次のファイルが再生されます。

eventフォルダとnormalフォルダを通して再生することは出来ません

分析ツール(ビューアー)

■ 表示モード



1 2

- 表示モード 1 :
本体ユニットのカメラ映像 (Camera1)と赤外線LED
付き外部カメラ映像 (Camera2)を並べて表示します。



1



表示モード 2 : 赤外線LED付き外部
カメラの映像を画面右上に子画面
として表示します。



2

表示モード 3 : 本体ユニットのカメラ
映像を画面右上に子画面として表
示します。

(子画面をクリックすることで表示モ
ード 2 と表示モード 3 を切り換える
ことができます。)

(子画面をクリックすることで表示モード  と表示モード  を切り換えることができます。)

分析ツール(ビューアー)

■ 表示モード

1 表示モード4: 本体ユニットのカメラ映像だけを表示します。



2 表示モード5: 赤外線LED付き外部カメラの映像だけを表示します。



2 上下反転: 赤外線LED付き外部カメラの映像は、上下反転した状態で再生することができます。



分析ツール(ビューアー)

■ 地図上での位置表示



- 再生中のファイルにGPSによる位置情報が含まれている場合、再生中に撮影時の位置情報が地図上に表示されます。

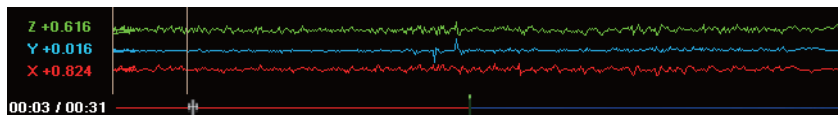
- 位置情報の地図上表示にはGoogle mapsを利用しているため、インターネットに接続されている状態でのみ動作します。また、Google mapsの仕様変更などにより表示が行えなくなる場合があります。

■ 衝撃量グラフ

- 車両に加わった衝撃を、三軸(X-Y-Z)それぞれを時間軸で表示します。

- X軸: 前後方向の衝撃(0G~3G)
- Y軸: 左右方向の衝撃(0G~3G)
- Z軸: 上下方向の衝撃(0G~3G)

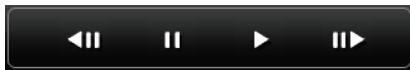
- 衝撃を検知した時点周辺に縦線が表示されます。



分析ツール(ビューアー)

■ フレーム移動 / 一時停止 / 再生

- 再生ボタンを押すと、選択されたファイルの再生が開始されます。
ファイルリスト上で選択したファイルを再生する場合には、ファイルリスト上でファイル名をダブルクリックしてください。
- 再生中に一時停止ボタンを押すと、一時停止と解除を行うことができます。
- フレーム移動ボタンを使用すると、前後方向に1フレームずつ移動することができます。



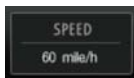
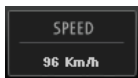
■ 明るさ(Brightness) 調節

- スライドバーを使用して、再生中の映像の明るさを調節することができます。



■ 速度表示(SPEED)

- 再生中のファイルにGPSによる位置情報が記録されている場合、GPS情報に基づく移動速度(≒走行速度)が表示されます。



分析ツール(ビューアー)

■ AVI変換



- SDカード上に保存されている映像ファイルはVisionDrive専用形式です。
- 分析ツール(ビューアー)を使用せず直接PC上で再生したい場合は、AVI形式に変換する必要があります。
- AVI形式の変換を行う場合は、分析ツール(ビューアー)上で変換したいファイルの再生を開始し、変換したい先頭位置で一時停止します。
- AVI変換ボタンを押すと、保存先とファイル名を指定する画面が表示されますので、保存先とファイル名を入力します。ファイル名には拡張子(.avi)を含める必要はありません。
- 再生ボタンを押すと、AVIファイルへの変換を開始します。
- 変換中に再生ボタンを押すと、再生を開始した位置から停止した位置までの映像がAVIファイルとして保存されます。
- AVI変換にはXvidコーデックが必要となります。ご利用のPCにXvidコーデックがインストールされていない場合は、インターネット上などからXvidコーデックを入手し、インストールする必要があります。

分析ツール(ビューアー)

■ 環境設定



[Record Setting]

Record time after event (seconds)

Event file storage size (%)

[Audio Record] Audio Record ON Audio Record OFF

[Sensor Trigger Volume] LOW HIGH

[Sound Option] Event Start up Parking Mode

- イベントファイルに含める衝撃検知後の映像の時間を設定します。
(衝撃検知前の映像は10秒間保存されます。変更することはできません。)
- SDカード上でeventフォルダに割り当てる容量をパーセント(%)単位で設定します。
- 音声録音のオン/オフを設定します。
- 衝撃検知時のアラーム音量を設定します。
- 各種音声案内のオン/オフを設定します。

[Vehicle Information]

- ナンバーや車種など、映像ファイルに含めるための車両情報を入力することができます

Speed Alarm

ON Km/h

- スピードアラームを設定すると、設定された速度を超過した場合に本機からアラームを鳴らすことができます。

分析ツール(ビューアー)

■ 環境設定



Low Battery Detection

OFF 11/22 V 11.5/23 V 12/24 V

- 電圧低下監視機能を使用することが出来ます。

[Time Zone] GMT +09:00 Seoul, Tokyo

Daylight Saving Time (D.S.T)

- GPS捕捉時、ファイルに記録する日時情報のためにタイムゾーンを選択します。日本国内ではGMT +09:00を選択します。

[Speed Type]

Km/h mile/h

- 速度表示(スピード)を行う際の単位を設定します。

Password (Case sensitive)

***** * Please enter 6~8 alphanumeric characters

***** * Please re-enter your password

- 分析プログラム(ビューアー)起動時のパスワードを変更することができます。

製品保証

保証期間内(お買い上げ日より6ヶ月間)に、正常な使用状態において製品が故障した場合には、無償にて修理・交換対応いたします。

保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書と購入証明(領収書・納品書など)を添えてお買い上げいただきました販売店に修理を依頼してください。

保証期間を経過した場合、有償でのご対応となります。

次のような場合は、保証期間の有無に関わらず有償でのご対応となったり、対応をお断りする場合があります。

- 使用上の誤りや、製品が分解・改造されていたり、その可能性が疑われる場合。
- お客様の不注意による破損や、天災などによる故障および損傷。
- 付属の専用シガー電源アダプタ以外を接続していた場合。
- 製品お買い上げ後の運搬・移動・落下などによる故障・損傷の場合。
- 保証書と購入証明(領収書・納品書など)をご呈示いただけない場合。

製品保証は日本国内でのみ有効です。

製品保証

製品保証書			
製品名	VISIONDRIVE	製品型番	VD-7000W
お買い上げ日		シリアル番号	
お買い上げ販売店名		保証期間	お買い上げ日より6ヶ月間

お買い上げ日より6ヶ月(保証期間)以内に製品自体に起因して故障・不具合が発生した場合には、無償サービスを受けることが出来ます。製品保証書にお買い上げ日が記載されていない場合や、購入証明(領収書・納品書など)をご呈示いただけない場合は、製品のシリアルナンバーにより生産日時を特定し、生産日時を起点として保証期間の有無を確認の上ご対応させていただきます。

- 本製品に対するサポートは、弊社または指定された協力会社/販売店にてサービスを実施します。- 製品保証の限度は製品一式の交換までとします。また、製品付属品上に記録されたデータなどについては保証の対象外となります。

-本製品に対するサポートは、全てセンドバック方式での対応となります。先出し交換や代替え商品の貸し出しなどは行っておりません。

VISIONDRIVE™

CAR BLACK BOX